
豊平区・南区のインフラの歴史を学ぶ見学会

平成 26 年 8 月 23 日

第 1 版

主催：NPO 法人 建設スクエア北海道

協力：大同舗道 株式会社

1. プロジェクト名

豊平区・南区のインフラの歴史を学ぶ見学会

2. 主催

主催者：企画支援及び歴史ガイド

NPO 法人 建設スクエア北海道

札幌市白石区菊水元町3条2丁目3-2 1（株式会社 マルチテックス内）

TEL.090- -

Blog：http://blog.livedoor.jp/cals_hokkaido/

e-mail：cals_hokkaido@livedoor.com

Facebook もやっています。

協力：大同舗道 株式会社

札幌市中央区北2条東17丁目2番地

【見学会運営事務所】

建設IT職人組合 クライス

札幌市西区発寒13条4丁目13-15

3. 後援（敬称略）

(1) 募集中

4. 協賛（敬称略）

(1) 募集中

5. 資料提供

北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所

岩田地崎建設株式会社

5. プロジェクトの目的(案)

プロジェクト名称：豊平区・南区のインフラの歴史を学ぶ見学会

明治 2 年（1869 年）北海道開拓の父（開拓の神）と呼ばれる島義勇氏が蝦夷地を訪れ、本格的な開発がスタートしました。150 年近く経つ現在、北海道は道都札幌市を中心に発展を続けて来ました。

その陰には、道路や河川、上下水道、農地などのインフラ整備が必要不可欠でしたが、当時の資機材は、現在の機械施工を主とした効率的な工事とはかけ離れたものでした。

様々な困難な中、先人の土木技術者は、フロンティアスピリットを胸に創意と工夫をもって、北の大地に人々が安全安心に暮らせるインフラを整備したのです。

今回は、その開拓の中でも困難を極めた国道 230 号の道路整備を中心に、昭和中期まで札幌から定山溪をつないでいた鉄道の足跡を含めて見学するものです。

偉大な先人の功績と平岸・石山・定山溪地区の歴史を現在も多くの人の手によって愛されて守られ続けている「産業遺産・土木遺産」を見学することで、インフラの重要性を再認識するとともに、事業整備を担ってきた建設業の役割と魅力について市民のみなさんに PR することを目的としてこのツアー(見学会)を行います。

6. 開催概要

(1) 日時

平成26年9月20日(土) 9:00~15:00 (8:45集合)

(2) 集合場所

札幌市豊平区平岸4条17丁目

大同舗道(株)

防災・安全交付金事業羊ヶ丘線工事事務所の駐車場

(3) 見学会ガイド

NPO法人 建設スクエア北海道 理事 佐々木 実



7. 募集範囲

- ・ 主催者 社員
- ・ 同 家族
- ・ 協力者 社員
- ・ 同 家族
- ・ 市民の皆さん

8. ツアー行程(案)

到着又は通過予定時刻	見学ポイント
9:00	本日の概要説明
9:10	集合場所（大同舗道現場事務所）出発 ↓ 車中「本願寺道路」について説明
9:20	本願寺街道終点碑 ↓
9:40	石切山街道碑 ↓
9:50	旧石切山駅と石山ポスト館 ↓
10:20	現存する本願寺道路を散策 ↓
10:40	旧道の難所・七曲と板割沢 ↓
10:50	二美桜（旧滝の沢駅） ↓
11:10	何気に積まれた石の本当の姿とは ↓ 車中「定山溪鉄道の話」「一の沢ダムの話」 ↓ 車中「道道1号線の話」
11:30	中山峠工事現場 現場説明 (昼食) ↓
12:10	中山峠新ルート分岐点 ↓
12:20	薄別溪谷構造物群 ↓
12:30	望岳台(札幌の水源) ↓
12:45	望羊中山（休憩）、現如上人像 ↓ 車中「シビックデザイン」の話
13:30	230号線定山溪舗装現場見学 ↓
14:10	簾舞通行屋 ↓ 車中「日本陸軍による豊平独立戦争鎮圧」について説明
15:00	羊が丘線バリアフリー現場見学 ↓
15:30	解散場所（大同舗道現場事務所）